勞友會の幹部某が最近焼亡に入[illegible]播市海岸通の某料理屋に出遊りあるは掩ふ可からざる事實にして酒色に耽溺し居る噂既報したるが聞く所に依れば會長淺原某は二十一日突如八幡署に召喚され何事が注意を受け嚴しき説諭を加へられたるが勞友會の内部に關し本社の更に探聞する處に依れば此程幹議員間に内訌を生じ本所議員の如きは同會の某々が亜棘手段を弄し小刀細工を企て居る由を聞知し大に立腹し五十余名の善良なる會員と與に不平を鳴し脱會したりと尚噂に依れば會員中には結束して淺原會長の不人望と識見に乏しきを看取し不信任案を提出し會長排斥を企て居るもの〻如く傳へられ居る[illegible]

[illegible]料理屋の如きも先づ[illegible]を決定し居るも實は開業[illegible]の薬價と大差なく尚同會が購買組合を組織し八幡市内に於ける飲食店や其他各種の商店に定價の一割引を交渉し居るも決して安價に非らず其他勞友會が設置し居る何事かに就いても會員中には不平を鳴らし怨嗟の聲絶ず遂に淺原會長の心事を疑ふ[illegible]を揚ぐる由（門司電話）

[illegible]は[illegible]ふ可からざる事實にして[illegible]中殊に幹部の一部には友愛會[illegible]なる支部長を得は勞友會にては大に雅量を示して同會に[illegible]し意義ある勞働組合を爲さんと[illegible]策せられつゝありと云ふ、而して同志會とは絶對に相容れず今や勞友同志兩會共盛に會員の爭奪戰中にして之れが爲め雙方に會員たるが如き職工多數ありて中には兩會の幹部として主義主張の使ひ分けを遣つて居るが如き滑稽もありと云ふ（八幡來電）

其筋の警戒頗る嚴重

四隊に分れ市中を練り廻る

北九州における普選要求運動の烽火は二日午前九時三萬の勞働者を有する製鐵所所在地たる八幡市に於て揚げられたり主催者日本勞友會は午前九時「勞友會」と大書せる大旗を押立てたる自動車數臺を飛ばして會員の

狩出しを

行ひ辻々にては「眠より醒めよ」「普選を要求する民衆は集合せよ」と記せる紙片を貼り景氣盛なり中央高製鐵所購買會前の廣場に集合せる群衆は何れも職工服に鳥打帽或は厚司姿の勞働者なり勞友會理事吉村眞澄氏開會の辭を述べ左の宣言書を朗讀す

吾人は現代の覇伴を脱し政治的産業的將た社會的にも一個の人格者として自由獨立の生存權を主張す吾人の日常生活に最も甚大なる關係を有する參政權を獲得することは一日も忽諸に附することを得ず茲に於て吾人は普選要求を要求し極力其の貫徹を期す

吾人は現代の覇伴を脱し政治的産業的將た社會的にも一個の人格として自主獨立の生存權を主張す吾人の日常生活に最も甚大なる關係を有する參政權を獲得することは一日も忽諸に附することを得ず茲に於て吾人は普選要求を要求し極力其の貫徹を期す

後普選要求促進市民大會と大書せる大旗二旗を先頭に會員を四隊に分かち自働車音樂隊を加へて行進歌を高唱し市内に示威運動を起せり尚右に關し警察部より小山末岡警部出張し八幡署の署員全部を加へこれに小倉憲兵分隊より十數名の憲兵の應援を求めて警戒物々しかりき

叱り飛ばして

やりき宣言の横暴を恨める群衆は手に〳〵小旗を振翳し四個の小隊に分れて樂隊附の自動車を先頭に賀川豐彦氏作普選の歌を高唱して雨の市中を練り歩き午後二時散會せり（八幡來電）

[illegible]の八幡市日本勞友會主催となり來る[illegible]し之と同時に普選促進大デモンストレーション職工市内を練歩くべしと云へる[illegible]は豫め嚴重の手配をなしつゝ

制服私服

の警官を會場附近に派遣して隙間もなく警戒し野村署長又市内を巡視して非常を戒めたるが縣警察部よりは特に警察部長出張し來り橋本門[illegible]吉村眞澄氏司[illegible]の許に一日午前九時より八幡市[illegible]において普選促進市民大會を開催し示威運動をなすべき筈なりしも同日は雨天のため順延となり二日午前十時よりこれを開催せり先會場たる八幡市中央區空場に司會者及關係者參集し諸般の準備をなせる中會員及市民迫々と參集してその數約千名に達したる頃左の如き宣言をなせり

宣言